

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3単位	学年・学科・コース	1年・普通科・普通コース
使用教科書	BLUE MARBLE English Communication I (数研出版)		副教材等	ユメタン (アルク) BLUE MARBLE English Communication I ナビゲーションノート (数研出版)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	本文の概要を把握した上で、本文の内容を自分のことばで簡潔に伝えたり、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり書いたりすることができる。 また、本文に関連したテーマの英文を聞いて、意見をやり取りすることができる。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを利用して適切に表現したり伝えあっている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手/書き手/聞き手/読み手に配慮しながら主体的・自律的に外国語を用いて意思疎通を図ろうとしている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容 (ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法	
			a	b	c			
4	■Lesson 1 Friendships in the Digital Age	・各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。 また、本文の内容を再生できる。(以下同) ・デジタル時代における友達付き合いについて、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	○			<ul style="list-style-type: none"> 新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料 (SV、SVC、SVO、SV00、SVOC、There is [are]の表現)、本文の論理展開を理解している。 本文の内容理解を深めるために、各 Part 本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。また、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり/書いたりしている。(以下同じ:*) 本文の内容に関連したテーマについて、事実や自分の考えを整理して、ペアで話し合ったり、自分の意見を伝えたりしようとしている。また、学習した機能表現を用いて、事実や自分の考えを整理し、30語以上で自分の意見を表現しようとしている。(以下 Lesson 4 まで同じ:☆) 	定期考査 発問評価 小テスト 提出物 パフォーマンス評価	
				○				
					○			
5	■Lesson 2 Expos: Past、Present、and Future	・[Lesson1~共通] ・万博とその開催意義について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	○			<ul style="list-style-type: none"> 新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料 (現在時制、過去時制、未来を表す表現、完了形)、本文の展開を理解している。 		
				○				*
					○			☆
6	■Lesson 3 The fascinating World of a Professional Story-teller	・[Lesson1~共通] ・講談と旭堂南春について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	○			<ul style="list-style-type: none"> 新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料(助動詞を含む受動態、used to do)、本文の論理展開を理解している。 		
				○				*
					○			☆
7 8	■Lesson 4 Changing Behavior in Unique Way	・[Lesson1~共通] ・仕掛けとソーシャルデザインについて、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。	○			<ul style="list-style-type: none"> 新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料 (不定詞・動名詞・分詞、seem to do、使役動詞+0+原形不定詞、動詞+0+to-不定詞)、本文の論理展開を理解している。 		
				○				*
					○			☆

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
9	■Lesson 5 A Journey to Peace	<ul style="list-style-type: none"> ・ [Lesson1～共通] ・ ルワンダ内戦とマリールイズについて、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料(分詞を伴う SVC・SVOC の表現、SV0102 で O2 が if-節となる表現)、本文の論理展開を理解している。 	定期考査 発問評価 小テスト 提出物 パフォーマンス 評価
				○		*	
					○		
10	■Lesson 6 Humans Evolve with Measurements	<ul style="list-style-type: none"> ・ [Lesson1～共通] ・ 単位の歴史について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料(関係代名詞の継続用法、what)、本文の論理展開を理解している。 	
				○		*	
					○	◇	
11	■Lesson 7 Bio-logging: Discovering Animals' Secrets	<ul style="list-style-type: none"> ・ [Lesson1～共通] ・ バイオロギング研究について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料 (関係副詞 (when / where / why / how)、本文の論理展開を理解している。 	
				○		*	
					○	◇	
12	■Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists	<ul style="list-style-type: none"> ・ [Lesson1～共通] ・ オーバーツーリズムについて、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語や Key Phrases、Key Language の言語材料 (仮定法)、本文の論理展開を理解している。 	
				○		*	
					○	◇	
1・2	■Lesson 9 Surviving in the Information Age	<ul style="list-style-type: none"> ・ [Lesson1～共通] ・ 正しい情報の見極め方について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語や Key Phrases の言語材料、本文の論理展開の理解を基に、本文内容を読み取る技能を身に付けている。 	定期考査 発問評価 小テスト 提出物 パフォーマンス 評価
				○		*	
					○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容に関連したテーマについて、事実や自分の考えを整理して、ペアで話し合ったり、自分の意見を伝えたりしようとしている。また、学習した機能表現を用いて、事実や自分の考えを整理し、50語以上で自分の意見を表現しようとしている。 (以下 Lesson10 まで同じ：▽) 	
2・3	■Lesson 10 The Spirit of Zen: Less Is More	<ul style="list-style-type: none"> ・ [Lesson1～共通] ・ 禅の精神と世界への影響について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出語や Key Phrases の言語材料、本文の論理展開の理解を基に、本文内容を読み取る技能を身に付けている。 	
				○		*	
					○	▽	